交配相談実施レポート

～トナカイの町“幌延町”で牛の交配相談～

今回はジェネティクス北海道の交配相談サービスを利用していただいている
ＪＡ幌延町の梅津正昭授精師に交配相談を始めたきっかけや幌延町の改良方向についてお話を伺いました。

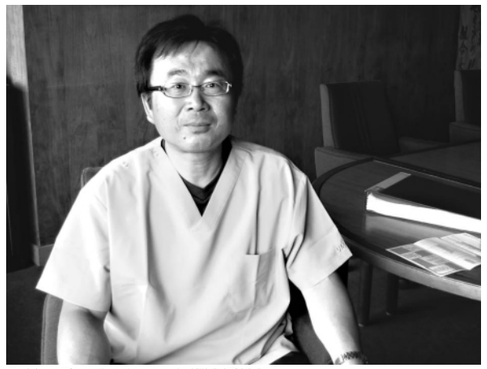
幌延町は“トナカイ”と“北緯４５度線の通る町”として知られています。
カントリーサインには凛々しいトナカイが描かれ、私たちを出迎えてくれます。
町名の由来となっているアイヌ語の「ポロ・ヌプ」は“大きい野原”を意味し、その名の通り大平原が広がる北海道らしい風景に出会える町です。主な産業は酪農業であり、乳牛頭数は９,４００頭で人口の約４倍にも及びます。



幌延町ホームページ　http://www.town.horonobe.hokkaido.jp/

1 交配相談を始めたきっかけは何ですか？

３年前に幌延町のＴＭＲセンター(有)ＣＦＴ(カウフードトイカン)の構成員９戸を対象に始めようと思ったのがきっかけです。


取材を受けてくださった梅津授精師

各生産者の改良方向や牛群の遺伝的能力が異なるなかで餌を同じものにした場合、牛に負担がかからないよう生乳生産するためには能力を揃えて底上げしていく必要があると思いました。

その後ＴＭＲセンター構成員だけではなく、「おまかせで」と授精を依頼される方や、個人で精液を購入している方に声をかけ、１９戸の実施希望農家を募り交配相談をスタートさせました。

また、ＪＡ幌延町では選定種雄牛を基に北海道ホルスタイン農協の近交回避システムを利用して近交回避表を全戸に配布していましたが、近交係数が6.25%以下になる種雄牛がすべて表示されているため、対象種雄牛や雌牛の頭数が多いと、授精時に1頭1頭確認することが大変な場合もありました。そんな時に、ジェネティクス北海道の交配相談ではA3用紙に最大3頭の推奨種雄牛が表示されることを知り、そのことも始めるきっかけとなりました。


JA幌延町　森授精師と梅津授精師

2 幌延町の改良方向について教えてください。

ＪＡ幌延町の選定種雄牛は肢蹄をメインに乳器・尻の構造等を重視しながら、産乳能力を落とさないようＮＴＰの数値も参考にしています。幌延町の近交係数は北海道平均に比べて若干高い傾向が続いているため、３年前からは台帳に１頭ずつ本牛の近交係数を記載し、農家の方々に意識してもらえるよう心がけています。また近交退化や遺伝病のリスクに関する説明などもその際に行うようにしています。

3 現場ではどのように利用していますか？

交配相談の結果表は選定種雄牛を変更する時期に合わせて、年２回の出力をお願いしています。結果表は牛乳処理室などの目立つところに置いてもらえるよう生産者の方々にお願いし、授精の際には発情の状況や精液単価を考慮しながら結果を参考に授精しています。

4 交配相談サービスへの要望点はありますか？

推奨種雄牛が最大３頭表示されますが、選定種雄牛が多い場合は４頭や５頭表示されると選択肢が増えて使いやすくなると思います。

また種雄牛の“父”と“母の父”の名号を表示してほしいです。将来的には各雌牛ごとの繁殖成績に合わせて、精液単価や種雄牛の受胎率を考慮した推奨種雄牛が選ばれるようになればと期待しています。


トナカイ牧場のトナカイたち

5 今後の交配相談について教えてください。

現在交配相談実施農家は２１戸ですが、幌延町の搾乳農家数８０戸のうち８割程度で実施するのが目標です。地域で取り組むことにより幌延町の近交係数や能力に変化が見られてくることを期待しています。また、自分で授精する種雄牛を決めておられる方にも近交回避を目的とした交配相談ができることをアプローチしていきたいと思っています。

ＪＡ幌延町の技術員の方々や生産者の方々のご協力により、当団の交配相談サービスを継続して利用していただいていることを実感し、大変うれしく思いました。お忙しい中、快く取材を受けてくださった梅津正昭さんに心より、お礼申し上げます。

（改良情報課　藤元　郁子）

北海道限定　ジェネティクス北海道交配相談サービス
1 みらいの牛群設計ができる！
2 ニーズに合わせた種雄牛が選択できる！
3 近交係数がコントロールできる！
詳しくはお近くの事業所または改良部までご連絡ください